

「班の仲間との時間を共有しよう！（さいころトーキング）」

所要時間 45～50分

対象 小学校中学年以上

ねらい

- 対人関係
 ・信頼して、自己開示する。
 決断と問題解決
 ・選ぶことの意味を理解する。 ・自分の意志で選択することの大切さに気づく。

進め方

導入

展開

振り返り

活動の流れ（指導者の教示、子どもの反応・行動）	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーミングアップ「日本語ビンゴ」 <ul style="list-style-type: none"> ①4×4マスの用紙を用意する。 ②「好きな食べ物」を16マスに書き込む。 ③指導者から順に「好きな食べ物」を発表する。 「私の好きな食べ物は○○です。△△さんの好きな食べ物は何ですか？」 ④順に好きな食べ物を発表しながら指名していく。 ⑤たて・横・斜めがそろったらビンゴ！ ●日本語ビンゴは、簡単なゲームだが、誰が何を言うか楽しみでもあるし、つながりを感じることでできるゲームでもある。 ●今日の目標 中学校に入学して2ヶ月半。新しい班の仲間に関心を持ってもらうゲームをします。さらに、自分の中のどんなことをみんなに知らせるのか、自分で選ぶスキルもみがいていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全員が楽しくゲームに参加できるように配慮する。 ○今日のねらいを板書して、印象づける。
<ul style="list-style-type: none"> ●『さいころトーキング』その1（浅めの自己開示） <ul style="list-style-type: none"> ①さいころをふる。 ②シートにある、出た目の数について一人一人話をする。 ③同じ目が出た場合は、班でパスするかどうか話し合っ決めて。 ④全員がゴールすれば完了。 ●『さいころトーキング』その2（やや深い自己開示） （さいころシートを代えて実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ○うまく話せない内容については話せる範囲でよいことを確認する。 ○困っている児童生徒がいる場合は、アドバイスする。
<ul style="list-style-type: none"> ●感じたり、考えたりしたことを振り返る。 ◇ふり返しシートに記入する。 ●全体で共有する。 ◇可能な範囲で発言する。 ●（感想をまとめ、指導者が、ワークしている中で気づいたこと、がんばったことを伝える。） ●今まで知らなかった仲間のことを、少し知ることができた。みんながんばって自分を開き、自分のことを話すことができた。何を話そうか、自分の中にあるいろいろなことをふりかえりながら、短い時間の中で決めて、みんなに知らせることができた。「自分を自分で振り返り、自分で選んだことを発表する」というスキルを学ぶことができた。 ●これから、班の仲間と協力して、取組をすることがたくさんあるが、もっともっとお互いの理解を深められるように話をしていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○静かに記入する時間にする。 ○多様な意見を取り上げる。 ○工夫したり、悩んだり、がんばっていたことを評価する。 ○自己開示、自己選択のスキルアップに取り組んだことを評価する。

留意点等

- 活動の流れは、中学校1年生1学期の人間関係づくりの学習第2時として考えられたものであるが、小中学校の各学年の発達段階に応じ、内容・時間等を工夫して取り組むことができる。
 （大阪府松原市立松原第七中学校の実践より）

さいころトーキング 1

1 わたしの好きな食べ物は

2 わたしの好きな芸能人は

3 最近ハマっていることは

4 好きなテレビ番組と言えば

5 行ってみたい場所があるの

6 好きなスポーツや選手は

さいころトーキング 2

1 感動……感動したこと

2 自分の長所&短所はねえ

3 将来の夢はこれ！

4 最近ショックだったこと

5 願いが一つかなうとしたら

6 自慢できること